

別添1

令和4年度第1回東北森林管理局事業評価技術検討会審議概要

1 開催日時 令和4年7月27日(水) 10時00分～12時10分

2 開催場所 東北森林管理局 4階第3会議室

3 出席者

(1)事業評価技術検討会

会長 高田 克彦

委員 山本 信次

委員 菊池 俊一

委員 山中 高史

(2)当局出席者(検討委員会委員等)

森林整備部長

計画保全部長

計画課長

治山課長

森林整備課長

資源活用課長

森林整備課課長補佐(説明員)

治山課災害対策指導係長(説明員)

企画調整課監査官(事務局)

企画調整課監査係長(〃)

4 評価の対象

事前評価(国有林直轄治山事業)

・蔦川地区(三八上北森林管理署)

5 事業評価技術検討会の意見

・事前評価(国有林直轄治山事業)「費用便益分析結果及び事業の必要性、効率性、有効性及び公益性を総合的に検討したところ、本事業の実施は妥当と考える。」

6 質疑応答等(事前評価(国有林直轄治山事業))

委員:この事業の必要性が非常に理解しやすい説明であった。その上で質問になるが、この蔦川地区の地すべりは大変大規模なものだと見て取れる。他にも蔦川に隣接するブロックがある中で、A1ブロックを最優先に事業対象とする理由は何か。

当局:最優先に A1ブロックを事業対象として選定した理由については、ブロック内を国道

103号が通っていることに加え、発電施設が隣接しており、地すべりによる被害が発生した場合、地域住民の生活と観光業等に大きな影響を及ぼす恐れがあるためである。

委員:説明のあった安全率について、国土交通省の指針と見比べても遜色ない数値であり、専門的な部分も踏まえて計算されているため、大変妥当な計画だと思われる。

委員:シミュレーションの今後起こりうる災害あるいは現象について、A2ブロックで地すべりが発生するシナリオになっているが、このA2ブロックはA1ブロックに含まれているのか。

当局:然り。

委員:大雨が降った場合は、A2ブロックが滑るのではなく、A1ブロック全体が滑るのではないのか。

当局:現地調査の結果、A1ブロック内に発達した低崖地形が確認されているため、これを境にA2ブロックのみが滑ることも想定されている。

7 その他

本事業については、令和4年11月に事業評価技術検討会の委員等に対し、令和4年度第2次補正予算が成立した際には、本予算にて事業着手となる旨連絡し、異存がないことを確認済み。